

# 黄河の酒神展

第Ⅰ期／平成11年 12月4日(土)～1月9日(日)

第Ⅱ期／平成12年 1月15日(土)～3月20日(月)

◆開館時間／9時～17時(入館は16時30分まで)

◆休館日／毎週月曜日および平成11年12月27日～平成12年1月4日

◆入館料：第Ⅰ期／平成11年12月4日～平成12年1月9日／一般850(700)円・学生650(500)円

第Ⅱ期／平成12年1月15日～3月20日／一般650(550)円・学生500(400)円

※( )内は20名以上の団体料金・18歳以下の方及び高等学校・盲・聾・養護学校に在学する生徒は無料。

◆主 催／山口県立萩美術館・浦上記念館、山東省文化庁、朝日新聞社、YAB山口朝日放送

◆助 成／芸術文化振興基金

山口県立萩美術館・浦上記念館



山口県立萩美術館・浦上記念館

HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758-0074 山口県萩市平安古586-1

TEL.0838-24-2400・FAX.0838-24-2401

www.hum.pref.yamaguchi.jp



シリーズ山東文物2

# 黄河の酒神展

黄河流域では、古くは大汶口文化（新石器時代）の遺跡から既に飲酒器や酒甕が発掘されています。商（殷）時代には酒は穀物の豊かな実りを祈るとともに、殷王朝の国家統一を具現化する神聖な祭りに用いられる重要なものでした。中国古代社会において、酒は現代のように単なる食文化の一要素というより、宗教的な意味を持つものとして、社会の中で大きな役割を果たしていたのです。

しかし皮肉な事に、殷王朝は王自ら酒におぼれ、国家の滅亡を招いてしまいます。次に興った周の王朝では、酒を飲むことを厳しく戒めたと文献に記されています。

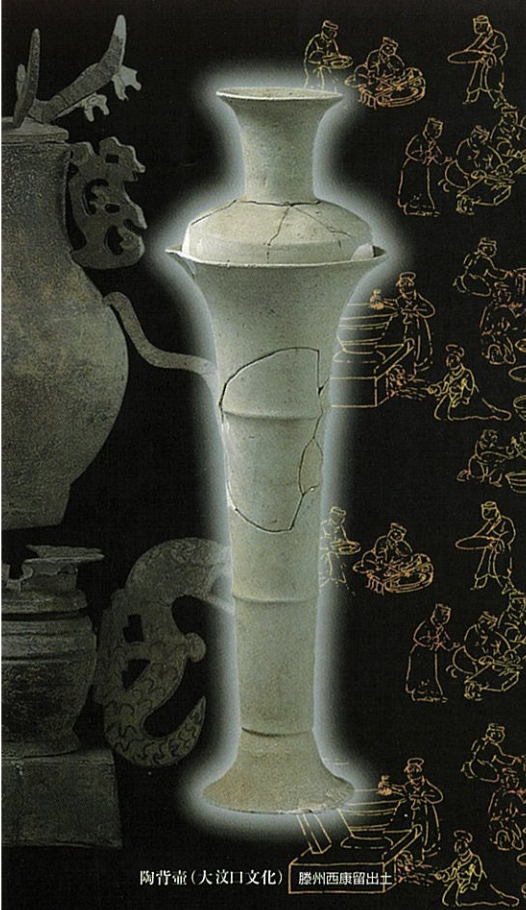
後に酒は儀礼的、宗教的色彩の濃いものから次第に宴会で楽しめるものへと変化を遂げていきました。漢時代の画像石の中では人々が宴席で酒を飲んでいる場面がたびたび見られるなど、酒は人間社会の日常で親しまれるものになっていったのです。

本展覧会では、山東省内で出土した新石器時代～漢時代までの酒器83件を紹介し、陶器、青銅器で作られたあらゆる種類の酒器は、今日の私達の想像を遥かに超えた独創的な造形のものばかりです。

酒器文化という現代にも身近なテーマを通じて中国文化と歴史の新たな側面を概観して行きます。



卵殼陶高柄杯（龍山文化）日照東海峪遺址出土



陶背壺（大汶口文化）滕州西康留出土

## 記念講演会（聴講無料）

「黄河下流域の酒文化—考古資料からの検討」  
郷 同修氏（山東省文物考古研究所副研究員）

平成11年12月4日（土）10時30～12時  
山口県立萩美術館・浦上記念館講座室

## ギャラリー・ツアー

12月11日（土）、12月25日（土）、1月8日（土）、  
1月15日（土）、1月29日（土）、2月5日（土）、  
2月19日（土）、3月4日（土）、3月18日（土）  
時間／11:00～12:00

## 同時開催

- ◆発掘された日本列島'99—新発見考古速報展—  
平成11年12月4日（土）～平成12年1月9日（日）
- ◆浮世絵展示—明治の美人画—  
Part1平成12年1月15日（土）～2月13日（日）  
Part2平成12年2月15日（火）～3月20日（月）
- ◆東洋陶磁展示—李朝後期の染付—  
平成12年1月15日（土）～3月29日（水）



## 交通のご案内

JR東萩駅=タクシー10分/徒歩30分  
JR小郡駅=バス70分（萩バスセンター下車徒歩15分）  
石見空港（島根県益田市）=バス75分（萩バスセンター下車徒歩15分）  
中国自動車道=小郡IC、美祿ICから各50分



山口県立萩美術館・浦上記念館  
HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758-0074 山口県萩市平安古586-1  
TEL.0838-24-2400 FAX.0838-24-2401  
www.hum.pref.yamaguchi.jp



陶甕—穀物を盛る器—（戦国時代） 滕州市莊里西遺址出土



彩陶釜（大汶口文化）泰安大汶口出土



銅鳥形杯（春秋時代）  
滕州市莊里西遺址出土